

令和元年度・2年度

文部科学省 がん教育総合支援事業

「学校におけるがん教育推進事業」  
実践事例集

令和3年3月

山口県教育庁学校安全・体育課

## 目 次

第1節	学校におけるがん教育推進のために	
1	がん教育の必要性	… 1
2	がん教育の定義	… 1
3	学校におけるがん教育の目標	… 1
4	がん教育の具体的な内容	… 1
5	がん教育を実施する上での留意点	… 2
	(1) 学校教育活動全体での推進	
	(2) 発達の段階を踏まえた指導	
	(3) 保健学習におけるがんに関する部分と指導の 充実に向けて	
	(4) がんに関する教材や指導参考資料の活用	
	(5) がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の 派遣等に係る相談など関係機関との連携	
	(6) 配慮が必要な事項	
第2節	実践事例	
1	推進地域について	… 5
	(1) 長門市（令和元年度）	
	(2) 岩国市（令和2年度）	
2	学習指導案	
	長門市立油谷小学校	… 10
	第5学年 特別活動（学級活動）	
	長門市立菱海中学校	… 13
	第2学年 保健体育 保健分野	
	岩国市立平田小学校	… 16
	第6学年 特別活動（学級活動）	
	岩国市立平田中学校	… 21
	第2学年 保健体育 保健分野	
	山口県立岩国高等学校	… 28
	第1学年 保健体育 科目保健	

参考資料

- 資料 1 学習指導要領及び学習指導要領解説における  
「がん」に関する記載部分 . . . 33
- 資料 2 がんに関する教材や指導参考資料 . . . 38
- 資料 3 「学校におけるがん教育の推進のために」の  
送付について . . . 40  
(平成29年7月13日付け平29教安体第373号)  
・ 県立学校版  
・ 各市町教育委員会版

## 第1節 学校におけるがん教育推進のために

### 1 がん教育の必要性 (参考: ※1「学校におけるがん教育の在り方について 報告」)

学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成することをめざして実施していくことが重要です。近年、疾病構造の変化や高齢社会の進行など、児童生徒を取り巻く社会・生活環境が大きく変化してきており、健康教育もそれらの変化に対応したものであることが求められています。中でも、国民の二人に一人がかかると推測されるがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分との指摘もあり、がんについて学ぶことで、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められています。

### 2 がん教育の定義

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通じて、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。

### 3 学校におけるがん教育の目標

#### ○がんについて正しい知識を学び、正しく理解することができるようにする

がんが身近な病気であることや予防、早期発見のための検診の重要性など、正しい知識を身につけ、適切に対処できる実践力を養う。また、がんを学ぶことを通じて、様々な病気についても理解を深め、健康保持増進を図る態度を養う。

#### ○自他の健康と命の大切さについて、主体的に考えることができるようにする

がんに関して学習することやがん経験者とも触れ合うことを通じて、自他の健康や命の大切さに対する認識を深め、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力を育成する。

※1 「学校におけるがん教育の在り方について 報告」

(平成27年3月「がん教育」の在り方に関する検討会)

文部科学省において、有識者による「がん教育」の在り方に関する検討会を設置し、がん教育の定義や目標などの「学校におけるがん教育の基本的な考え方」や、外部講師の確保、教材や指導参考資料の作成などの「今後の検討課題」について議論の上、学校におけるがん教育の在り方についての報告書を作成。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/\\_icsFiles/afieldfile/2016/04/22/1369993\\_1\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2016/04/22/1369993_1_1.pdf)

#### 4 がん教育の具体的な内容

がん教育において取り扱う具体的な内容については、例えば以下のようなことについて学ぶことが考えられます。

ア	がんとは（がんの要因等）
イ	がんの種類とその経過
ウ	我が国のがんの状況
エ	がんの予防
オ	がんの早期発見、がん検診
カ	がんの治療法
キ	がん治療における緩和ケア
ク	がん患者の生活の質
ケ	がん患者への理解と共生

#### 5 がん教育を実施する上での留意点

##### (1) 学校教育活動全体での推進

がん教育が健康教育の一環として行われることから、学習指導要領総則1の3を踏まえ、体育科、保健体育科を中心に基礎的知識を身に付けさせるとともに、関連する教科等（他教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等）を含めて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切です。

##### (2) 発達の段階を踏まえた指導

校種		指導内容	指導時間
小学校	中・高等学校	発達段階を踏まえて	教育活動全体（各教科、学校行事等）
			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           体育課・保健体育科を中心に、関連教科、総合的な学習の時間等、特別活動         </div>
		主として健康や命の大切さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師の参加協力</li> <li>関係期間との連携</li> </ul>
		主としてがんに関する科学的根拠に基づいた理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんに関する教材や指導参考資料の活用</li> </ul>

がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、中学校・高等学校において取り扱うことが望ましいと考えられます。また、健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で発達の段階を踏まえた内容での指導が考えられます。

(3) 保健学習におけるがんに関する部分と指導の充実に向けて（資料1 参照）

校種	学習指導要領及び学習指導要領解説 がんに関する部分（一部抜粋）	指導の充実に向けて (他教科等による学習、関係機関等との連携)
小学校 【体育（保健領域）】	<p>【第6学年】 病気の予防</p> <p>(ウ) 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい生活習慣</li> <li>・適切な運動</li> <li>・栄養の偏りのない食事</li> <li>・口腔衛生を保つこと 等</li> </ul> <p>(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること</li> </ul> <p>※喫煙については、(略)がんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。</p>	<p>○関連教科、総合的な学習の時間等、特別活動での学習と関連させながら進める。</p> <p>○がんに関する教材や指導参考資料の活用(文部科学省や県健康福祉部が作成したもの等)</p> <p>○学校医等の専門家との連携</p>
中学校 【保健体育（保健分野）】	<p>【第2学年】 健康な生活と疾病の予防</p> <p>(ウ) 生活習慣病などの予防</p> <p>㊦生活習慣病の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践</li> </ul> <p>㊧がんの予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの要因は不適切な生活習慣をはじめ様々なものがある</li> </ul> <p>※健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。</p> <p>(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>㊦喫煙と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な疾病を起こしやすくなる</li> </ul>	<p>※学校医等の専門家と連携する際には、事前に学習内容等について十分な打ち合わせを行う必要がある。</p> <p>○指導内容の具体（例）</p> <p>ア がんとは（がんの要因等）</p> <p>イ がんの種類とその経過</p> <p>ウ 我が国のがんの状況</p> <p>エ がんの予防</p> <p>オ がんの早期発見、がん検診</p> <p>カ がんの治療法</p> <p>キ がん治療における緩和ケア</p> <p>ク がん患者の生活の質</p> <p>ケ がん患者への理解と共生</p>
高等学校 【保健体育（保健）】	<p>現代社会と健康</p> <p>(ウ) 生活習慣病などの予防と回復</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践</li> <li>・健康診断やがん検診等の受診が必要</li> <li>・がんの種類と原因</li> <li>・がんの治療法</li> <li>・患者や周囲の人々の生活の質や緩和ケア</li> <li>・予防と回復への社会的な対策</li> </ul> <p>環境づくり</p> <p>(ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>㊦地域の保健・医療機関の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用すること</li> </ul>	<p>※これらの内容に関連付けて、一次予防(生活習慣の改善等)、二次予防(がん検診等)について理解できるようにする。</p>

#### (4) がんに関する教材や指導参考資料の活用（資料2 参照）

がん教育を進めるにあたっては、科学的根拠に基づいた内容に沿って指導を進める必要があります。児童生徒の発達の段階に応じた分かりやすい教材と指導参考資料を活用することが重要です。

#### (5) がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等にかかる相談など関係機関との連携

専門的な内容を含むがん教育を進めるにあたっては、地域や学校の実情に応じた情報の収集・活用や、学校医をはじめとして、がんの専門医、保健行政関係者、がん経験者等の外部講師の参加・協力を求めるなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮が必要です。

##### 留意事項

##### ① 授業のねらいと外部講師について

- ・健康や命の大切さをねらいとした場合  
⇒がん患者やがん経験者による指導が効果的
- ・がんに関する科学的根拠に基づいた理解をねらいとした場合  
⇒専門的な内容を含むため、学校医、がん専門医など、医療従事者による指導が効果的

##### ② 情報提供や外部講師の派遣等にかかる相談の仕方について（資料3 参照）

- ・県立学校の場合  
各市町の地域保健主管課、健康福祉センター及び県内がん診療連携拠点病院に、情報提供や外部講師の派遣等にかかる相談を希望する際は、学校安全・体育課に連絡をしてください。
- ・市町立学校の場合  
各市町の地域保健主管課、健康福祉センターに、情報提供や外部講師の派遣等にかかる相談を希望する際は、各市町教育委員会に確認してください。  
県内がん診療連携拠点病院に、情報提供や外部講師の派遣等にかかる相談を希望する際は、学校安全・体育課に連絡してください。

#### (6) 配慮が必要な事項

がん教育の実施にあたっては、以下のような事例に該当する児童生徒が把握できる場合はもとより、できない場合でも授業を展開する上で配慮が求められます。

- ・小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合
- ・家族にがん患者がいる児童生徒や、家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合
- ・生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる場合
- ・がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合

なお、具体的な配慮の方法については、児童生徒の状況を最もよく把握している教職員（学校）が、学校全体の共通理解のもと、個別の状況に応じて検討をする必要があります。その際、外部講師にも必要な情報を共有し、連携を図ることが大切です。

## 第2節 実践事例

### 1 推進地域について

山口県教育委員会では、令和元年度は長門市、令和2年度は岩国市をがん教育の推進地域としてがん教育の推進を行ってきました。その際、がん教育推進協議会委員に協力を得て、ワーキンググループ会議で指導案や教材の作成を行いました。

#### (1) 長門市（令和元年度）

長門市で令和元年度から実施する「健幸百寿プロジェクト」と連携して、長門市内のすべての小・中学校でがん教育を実施しました。その中で、県教委、長門市、長門市教委主催の公開授業及び教育講演会を長門市立油谷小学校、長門市立菱海中学校で開催しました。

また、長門市教育委員会と連携して、長門市学校教育研究大会でもがん教育に関する講演会を実施し、長門市内小、中学校の教職員等を対象に研修を行いました。

なお、長門市では、令和2年度も継続して「健幸百寿プロジェクト」と連携したがん教育を実施しています。

#### ① 長門市立油谷小学校における取組

##### ○ 公開授業

学年	第5学年	教科	特別活動（学級活動）
題材名	がんについて考えよう		
がん教育において取り扱う具体的な内容	<input checked="" type="checkbox"/> ア がんとは（がんの要因等） <input checked="" type="checkbox"/> イ がんの種類とその経過 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 我が国のがんの状況 <input checked="" type="checkbox"/> エ がんの予防 <input checked="" type="checkbox"/> オ がんの早期発見、がん検診 <input type="checkbox"/> カ がんの治療法 <input type="checkbox"/> キ がん治療における緩和ケア <input type="checkbox"/> ク がん患者の生活の質 <input type="checkbox"/> ケ がん患者への理解と共生		
使用教材：	がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省） ・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」		
本時の流れ	1 聴診器で自分の心音を聞き、命を感じとる。 2 がんの原因について知る。 3 がんの早期発見・早期治療の重要性を理解する。 4 がんにかかるリスクを減らすために、今からできることを考える。 ・自分が気をつけたいこと ・家族に気をつけて欲しいこと		
外部講師との連携	山口県立大学看護栄養学部看護学科 准教授 吉村眞理 氏		

##### ○ 授業後の教育講演会（第5学年、第6学年）

演題 「がん患者の私が伝えたいこと」

講師 NPO法人がんサーネットジャパン認定

乳がん体験者コーディネーター 井上裕香子 氏



## ② 長門市立菱海中学校における取組

### ○ 公開授業

学年	第2学年	教科	保健体育	保健分野	
单元名	健康な生活と疾病の予防				
がん教育において取り扱う具体的な内容					
<input checked="" type="checkbox"/> ア	がんとは（がんの要因等）	<input checked="" type="checkbox"/> イ	がんの種類とその経過	<input checked="" type="checkbox"/> ウ	我が国のがんの状況
<input checked="" type="checkbox"/> エ	がんの予防	<input checked="" type="checkbox"/> オ	がんの早期発見、がん検診	<input type="checkbox"/> カ	がんの治療法
<input type="checkbox"/> キ	がん治療における緩和ケア	<input type="checkbox"/> ク	がん患者の生活の質	<input type="checkbox"/> ケ	がん患者への理解と共生
使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）					
・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」					
・中学校・高等学校版 スライドモジュール2、3、5					
本時の流れ					
1 新生児の写真をもとに、命の尊さを考える。					
2 がんの現状について知る。					
3 がんの原因と予防について知る。					
4 がんの早期発見の重要性を理解する。					
5 がんにかかるリスクを減らすために、今後とるべき行動について考える。					
・自分自身に関わること					
・家族に関わること					
・県や市、地域社会、医療機関等に関すること					
外部講師との連携					
山口県立大学看護栄養学部看護学科 准教授 吉村眞理 氏					

### ○ 授業後の教育講演会（全校生徒）

演題 「がんを経験して」

講師 急性骨髄性白血病経験者

現役フットサルプレイヤー 中平雄介 氏

## （2）岩国市（令和2年度）

令和元年度に岩国市養護教諭部会においてがん教育の研修会を行い、令和2年度、がん教育推進地域としてがん教育を実施しました。

小・中学校では小中合同研修会を通して、すべての教職員が、がん教育の重要性を理解し、県教委、岩国市教委主催の公開授業を岩国市立平田小学校、岩国市立平田中学校で開催しました。

また、令和2年度は山口県立岩国高等学校においても研究授業を実施し、小・中・高等学校での発達段階に応じたがん教育を推進しました。

更に、岩国市学校保健会と連携して、岩国市学校保健会講演会でがん教育に関する講演会をオンデマンド方式で開催し、医療関係者、保護者、教職員等を対象に研修を行いました。

① 岩国市立平田小学校における取組

○ 公開授業

学年	第 6 学年	教科	特別活動（学級活動）
<p>題材名 がんについて考えよう（1 / 2）</p>			
<p>がん教育において取り扱う具体的な内容</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>ア がんとは（がんの要因等）    <input checked="" type="checkbox"/>イ がんの種類とその経過    <input checked="" type="checkbox"/>ウ 我が国のがんの状況  <input checked="" type="checkbox"/>エ がんの予防    <input checked="" type="checkbox"/>オ がんの早期発見、がん検診    <input type="checkbox"/>カ がんの治療法  <input type="checkbox"/>キ がん治療における緩和ケア    <input type="checkbox"/>ク がん患者の生活の質    <input type="checkbox"/>ケ がん患者への理解と共生         </p>			
<p>使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）</p> <p>・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」</p> <p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんについて知っていることやイメージについて話し合う。</li> <li>2 がんの原因について知る。</li> <li>3 がんの早期発見・早期治療の重要性を理解する。</li> <li>4 がんにかかるリスクを減らすために、何ができるか考え、話し合う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のためにできること</li> <li>・家族にして欲しいこと</li> <li>・地域のためにできること</li> </ul> </li> <li>5 外部講師のメッセージを聞き、学びを振り返る。</li> </ol>			
<p>題材名 がんについて考えよう（2 / 2）</p>			
<p>がん教育において取り扱う具体的な内容</p> <p> <input type="checkbox"/>ア がんとは（がんの要因等）    <input type="checkbox"/>イ がんの種類とその経過    <input type="checkbox"/>ウ 我が国のがんの状況  <input checked="" type="checkbox"/>エ がんの予防    <input checked="" type="checkbox"/>オ がんの早期発見、がん検診    <input type="checkbox"/>カ がんの治療法  <input type="checkbox"/>キ がん治療における緩和ケア    <input type="checkbox"/>ク がん患者の生活の質    <input type="checkbox"/>ケ がん患者への理解と共生         </p>			
<p>使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）</p> <p>・小学校版 映像教材「がんと生きる」</p> <p>エピソード1：がん経験者男性</p> <p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんに対する前時のイメージと、今の自分の考えとを比較する。</li> <li>2 山口県のがんの検診率について知る。</li> <li>3 地域の人にがんについて考えてもらうために、どのようなことを伝えればよいか、メッセージを考える。</li> <li>4 話し合った内容を発表する。</li> <li>5 外部講師のメッセージを聞き、学びを振り返る。</li> </ol>			
<p>外部講師との連携</p> <p>山口県立総合医療センター 看護主任 山本知美 氏            （がん看護専門看護師）</p>			

② 岩国市立平田中学校における取組

○ 公開授業

学年	第2学年	教科	保健体育	保健分野
单元名 健康な生活と疾病の予防（1 / 2）				
<p>がん教育において取り扱う具体的な内容</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>ア がんとは（がんの要因等）    <input checked="" type="checkbox"/>イ がんの種類とその経過    <input checked="" type="checkbox"/>ウ 我が国のがんの状況  <input checked="" type="checkbox"/>エ がんの予防    <input checked="" type="checkbox"/>オ がんの早期発見、がん検診    <input type="checkbox"/>カ がんの治療法  <input type="checkbox"/>キ がん治療における緩和ケア    <input type="checkbox"/>ク がん患者の生活の質    <input type="checkbox"/>ケ がん患者への理解と共生         </p>				
<p>使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」</li> <li>・中学校・高等学校版 スライドモジュール1、2、3、5</li> </ul> <p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分の現在や未来の健康について考える。</li> <li>2 がんの現状について知る。</li> <li>3 がんの原因について知る。</li> <li>4 がんの早期発見・早期治療の重要性を理解する。</li> <li>5 がんにかかるリスクを減らすために、何ができるか考える。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がどんなことに気をつけて生活するか。</li> <li>・大切な人にどんなアドバイスをするか。</li> </ul> </li> <li>6 本時の学習の振り返り、ワークシートに記入する。</li> </ol>				
单元名 健康な生活と疾病の予防（2 / 2）				
<p>がん教育において取り扱う具体的な内容</p> <p> <input type="checkbox"/>ア がんとは（がんの要因等）    <input type="checkbox"/>イ がんの種類とその経過    <input type="checkbox"/>ウ 我が国のがんの状況  <input type="checkbox"/>エ がんの予防    <input type="checkbox"/>オ がんの早期発見、がん検診    <input type="checkbox"/>カ がんの治療法  <input type="checkbox"/>キ がん治療における緩和ケア    <input type="checkbox"/>ク がん患者の生活の質    <input checked="" type="checkbox"/>ケ がん患者への理解と共生         </p>				
<p>使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校版 映像教材「がんと生きる」 エピソード2：がん経験者女性</li> <li>・中学校・高等学校版 スライドモジュール9</li> </ul> <p>本時の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時のがんの授業の復習をする。</li> <li>2 がんと向き合う人の思いを考えたり、伝えたりする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人や家族ががんになったら、どのように接するか考える</li> <li>・がん患者と共に生きていくために必要なことを考える</li> </ul> </li> <li>3 外部講師のメッセージを聞き、学びを振り返る。</li> </ol>				
<p>外部講師との連携</p> <p>山口県立総合医療センター 看護主任 山本知美 氏 (がん看護専門看護師)</p>				

※ 2 / 2 は中学校学習指導要領に対して発展的な内容です。

○ 授業後の教育講演会（第2学年）

演題 「がんを経験して」

講師 急性骨髄性白血病経験者

現役フットサルプレイヤー 中平雄介 氏

③ 山口県立岩国高等学校における取組

○ 研究授業

学年	第1学年	教科	保健体育	科目保健
単元名 現代社会と健康				
がん教育において取り扱う具体的な内容				
<input checked="" type="checkbox"/> ア がんとは（がんの要因等） <input type="checkbox"/> イ がんの種類とその経過 <input type="checkbox"/> ウ 我が国のがんの状況 <input type="checkbox"/> エ がんの予防 <input type="checkbox"/> オ がんの早期発見、がん検診 <input checked="" type="checkbox"/> カ がんの治療法 <input type="checkbox"/> キ がん治療における緩和ケア <input checked="" type="checkbox"/> ク がん患者の生活の質 <input checked="" type="checkbox"/> ケ がん患者への理解と共生				
使用教材：がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省） ・中学校・高等学校版 スライドモジュール1、6、8、9				
本時の流れ <ol style="list-style-type: none"> <li>1 がんについて知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・罹患リスク</li> <li>・がんの特徴</li> <li>・治療法</li> </ul> </li> <li>2 がん患者の生活の質について考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の希望する生活を踏まえて治療法を選ぶこと</li> <li>・がんの治療中、治療後の「生活の質」の向上が大切</li> </ul> </li> <li>3 がん患者が暮らしやすい社会について考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の生活について</li> <li>・地域での生活について</li> <li>・社会の制度について</li> </ul> </li> <li>4 本時の内容を振り返り、学習プリントに記入する。</li> </ol>				
外部講師との連携 山口県立大学看護栄養学部看護学科 准教授 吉村真理 氏				

## 2 学習指導案

各推進校で作成した指導案を掲載します。各学校の実情に応じて御活用ください。

### 長門市立油谷小学校

#### 学習指導案(第5学年 特別活動)

指導者 T1 教諭(5年生担任)  
T2 山口県立大学 准教授  
T3 養護教諭

- 1 題材名 がんについて考えよう
- 2 主眼 がんの原因や予防について知り、自分と家族のためにできることを考える。
- 3 展開

学習活動・予想される児童の反応	指導上の留意点
<p>1 命を感じてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴診器を使用して自分の心音を聞く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【問1】</b> 命には限りがあります。 どのようなことで人は亡くなっていると思いますか？</p> </div> <p>&lt;予想される児童の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○病気</li> <li>○事故</li> </ul>	<p>T1:「からだの専門家」として登場したT2を紹介する。</p> <p>T2:聴診器の使い方を実演することにより、児童に使い方を理解させる。</p> <p>T3:実習を終了した後、直ちに聴診器を回収することにより、児童が次の活動に集中できるようにする。</p> <p>T2:児童の発言を拾いながら、命をなくす原因には病気や事故などがあり、病気の中でも、本時では「がん」について学ぶことを知らせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>がんについて知り、自分と家族のためにできることを考えよう。</p> </div>	
<p>2 がんの原因について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【問2】</b> 日本では一生のうちどのくらいの人のがんになっているでしょうか。 ① 2人に1人 ② 10人に1人 ③ 100人に1人</p> </div> <p>&lt;予想される児童の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ よく「がん」って言葉を聞くけれど、2人に1人は多いから10人に1人ぐらいかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【文部科学省作成の動画】</b> ・ どうしてがんになるの？ ・ がんにならないためにはどうすればいいの？ ※3分16秒</p> </div>	<p>T1:家族や身近な人ががんになっている児童には、教師や講師に声をかけるように伝え、安心して授業を受けることができるようにする。</p> <p>T2:クイズ形式にすることにより、どの児童も意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>T2:罹患率が少しずつ上がることを押さえることにより、児童の不安を和らげるようにする。</p> <p>T2:動画視聴後、板書したポイントをまとめることにより、理解をより深めることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>～ポイント～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰もががんにかかる可能性があること。</li> <li>・ 予防には健康な生活習慣が大切であること。</li> <li>・ がんの原因には、たばこ・飲酒・生活習慣などがあるが、原因不明の場合もあること。</li> </ul> </div> <p>T3:動画のポイントを板書に残すことにより、学習の定着を図ることができるようにする。</p> <p>T1:机間指導により、児童の理解度を把握する。</p>

<p>3 がんの早期発見・早期治療の重要性を理解する。</p> <div data-bbox="172 367 772 483" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【問3】</b> がんは治ると思いますか？ ① 治る ② 治らない</p> </div> <p>&lt;予想される児童の反応&gt; ○ 「がん」を手術で治した話は聞いたことがある。 ○ よく「がん」で亡くなったという話をニュースで聞くよ。</p> <div data-bbox="172 680 772 824" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【文部科学省作成の動画】</b> ・がんはなおすことができるの？ ・どうすればがんを早く見つけられるの？ ※3分17秒</p> </div> <div data-bbox="172 1115 772 1344" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【問4】</b> 山口県のがん検診（がんにかかっているかどうかの検査）を受けている人の割合は全国で何位ぐらいだと思いますか？ ① 1～20位 ② 21～40位 ③ 41～47位</p> </div> <p>&lt;予想される児童の反応&gt; ○ まん中ぐらいで②かな。</p> <p>4 がんを予防するために、今からできることを考える。</p> <p>&lt;予想される児童の反応&gt; ○ 生活習慣に気を付けたい。 ○ 家族に検診をすすめたい。 ○ 家族に検診を受けてほしい。 ○ たばこの吸いすぎには注意してほしい。</p> <p>5 まとめ</p>	<p>T2：クイズ形式にすることにより、どの児童も意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>T2：早期発見できれば治る可能性があることをおさえることにより、早期発見の重要性を理解できるようにする。</p> <p>T1：児童の様子から詳しい説明が必要であれば行い、理解が深められるようにする。</p> <p>T2：動画視聴後、板書したポイントをまとめることにより、理解をより深めることができるようにする。</p> <div data-bbox="810 698 1430 913" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>～ポイント～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんが小さいうちは気づきにくいこと。</li> <li>・がんは小さいうちにを見つけることが大切であること。</li> <li>・検診を受けることが大切であること。</li> </ul> </div> <p>T3：動画のポイントを板書に残すことにより、学習の定着を図ることができるようにする。</p> <p>T2：全国のがん検診受診率について、データを用いて説明することにより、視覚的に児童に訴える。</p> <p>T1：児童の様子を見て、児童の理解度を把握する。</p> <p>T1：ワークシートの使い方を説明することにより、スムーズに学習が進められるようにする。</p> <p>T1：次時のがん経験者による講演内容の紹介をすることで、講演会への参加意欲を高めたい。</p>
--	---

使用した映像（P. 38 資料2 参照）

がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）

・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」（前半・後半を分けて視聴）

名前 ( )

5 時間目の授業

【メモ】

がんを予防するために

自分が気をつけたいこと

家族に気をつけてほしいこと



長門市立菱海中学校

学 習 指 導 案 (第2学年 保健体育科)

指導者 T1 教諭 (保健体育科)  
 T2 山口県立大学 准教授  
 T3 養護教諭

- 1 単元名 「健康な生活と疾病の予防」～生活習慣病などの予防 (がんの予防)～  
 2 主 眼 がんの原因や予防について正しく理解し、自他の健康と命の大切さについて主体的に考えることができる。  
 3 展 開

学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点
<p>1 命の尊さを感じる。</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p> <div data-bbox="159 757 788 833" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【問1】T1 日本人の病気における死因第1位は何ですか？</p> </div> <p>&lt;予想される生徒の反応&gt; ○がん ○心臓病 ○脳卒中</p> <div data-bbox="159 936 788 1124" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【問2】T1 日本では一生のうちどのくらいの方ががんになっているのでしょうか。 ① 2人に1人 ② 10人に1人 ③ 100人に1人</p> </div> <p>&lt;予想される生徒の反応&gt; ○2人に1人は多いから10人に1人ぐらいかな。</p> <div data-bbox="185 1263 1423 1339" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>めあて：「がん」について正しく知り、がんになる人、がんで亡くなる人が少なくなるには、どうしたらよいか考えよう。</p> </div>	<p>T1:新生児の姿から生命の誕生と生命の尊さをイメージさせるとともに、いつかは誰もが死を迎えることに触れる。</p> <p>T1:命を亡くす原因として約3人に1人は「がん」であることを示す。</p> <p>T1:年齢を重ねるごとに罹患率が少しずつ上がることを押さえることにより、生徒の不安を和らげるようにする。</p> <p>T1:めあてを提示し、本時では「がん」について3人で授業を行うことを知らせる。「からだの専門家」としてT2を紹介する。</p> <p>T3:家族や身近な人ががんになっている生徒への配慮として「授業中に話を聞くのが辛くなったら、遠慮なく周りの先生に声をかけるように」と伝える。</p>
<p>3 がんの原因と予防について知る。 ・がんになる原因を把握する。</p> <div data-bbox="159 1460 788 1594" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【文部科学省作成の動画】 ・どうしてがんになるの？ ・がんにならないためにはどうすればいいの？ ※3分16秒</p> </div> <p>・がんを予防する5つの生活習慣を理解する。</p> <p>4 がんの早期発見の重要性を理解する。 ・早期発見の重要性を理解する。</p> <div data-bbox="159 1841 788 1944" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【問3】T3 がんは治ると思いますか？ ① 治る ② 治らない</p> </div>	<p>T3:動画視聴後、がんの原因には生活習慣が大きく関わっていることを確認する。その際、すべてのがんが生活習慣に起因しているものではないことを押さえる。</p> <p>T1:がんの原因を板書に残すことにより、学習の定着を図ることができるようにする。</p> <p>T2:がんを予防する5つの生活習慣について説明する。なかでも、食生活と運動については具体的に数値等を示して解説する。</p> <p>T3:早期発見できれば治る可能性が高い(95%)ことを示し、早期発見の重要性を理解できるようにする。</p>



<p>&lt;予想される生徒の反応&gt;  <input type="radio"/> 「がん」を手術で治した話は聞いたことがある。  <input type="radio"/> 「がん」で亡くなったという話をニュースで聞くよ。</p>	
<p><b>【問4】 T3</b>      早くがんを見つけることができれば、何%くらいの人が治るとおもいますか？</p>	
<p>&lt;予想される生徒の反応&gt;  <input type="radio"/> 医療が進歩しているから 70%くらいかな。</p>	<p>T2: 動画視聴後、早期発見のポイントを押さえる。その際、検診については、どこでどのようにして受けることができるかを説明する。</p>
<p><b>【文部科学省作成の動画】</b>      ・がんはなおすことができるの？      ・どうすればがんを早く見つけられるの？      ※3分17秒</p>	<p>～ポイント～      ・がんは小さいうちに見つけることが大切であること。(=早期発見)      ・検診を受けることが大切であること。</p>
<p>・本県のがん検診の受診率を知る。</p>	<p>T1: 動画のポイントを板書に残すことにより、学習の定着を図る。</p>
<p><b>【問5】 T3</b>      山口県のがん検診（がんにかかっているかどうかの検査）を受けている人の割合は全国で何位ぐらいだと思いますか？      ① 1～20位      ② 21～40位      ③ 41～46位</p>	<p>T3: 全国のがん検診受診率について、データを用いて説明することにより、視覚的に示す。      T1: 生徒の様子を見て、生徒の理解度を把握する。</p>
<p>&lt;予想される生徒の反応&gt;  <input type="radio"/> まん中ぐらいで②かな。</p>	
<p>5 がんから身を守るために、今後とるべき行動について考える。</p>	<p>T1: ワークシートや付箋の使い方を説明することにより、スムーズに学習が進められるようにする。</p>
<p><b>【問6】 T1</b>      がんになる人、がんで亡くなる人を少なくするにはどうしたらいいか考えましょう。その際、自分・家族・社会（県/市/地域社会/医療機関等）のそれぞれの立場から考えてください。</p>	
<p>(1) 自分の考えまとめる      (2) 班で意見を交流する      (3) 全体で意見を発表する</p>	
<p>&lt;予想される生徒の反応&gt;  <input type="radio"/> 生活習慣に気をつけたい。  <input type="radio"/> タバコの吸いすぎに注意してほしい。  <input type="radio"/> 家族に検診に行くように言う。  <input type="radio"/> がん検診を呼びかける。      (CM、ポスター、講演会など)  <input type="radio"/> 誰でも検診に行きやすくする。</p> <p>6 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>T1: 本時の学習内容をまとめたプリントを配布する。      T1: 次時のがん経験者による講演内容の紹介をすることで、講演会の参加意欲を高める。</p>

使用した映像（P. 38 資料2 参照）

がん教育推進のための教材 補助教材（文部科学省）

・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」（前半・後半を分けて視聴）

# 保健学習プリント「健康な生活と疾病の予防」

2年 組

本時のめあて：「がん」について正しく知り、がんになる人、がんで亡くなる人が少なくなるには、  
どうしたらよいか考えよう。

**MEMO** 吉村先生の話聞いて、大切なことはメモを取りましょう。

---

---

---

---

---

---

---

---

**問：がんになる人、がんで亡くなる人を少なくするためにできること。**

・自分の意見

自分自身	
家族	
社会 (県や市、地域社会 医療機関等)	

・班の意見(班で決まった意見を書こう)

自分自身	
家族	
社会 (県や市、地域社会 医療機関等)	

1 題材名 「がんについて考えよう」(1/2)

2 主眼 がんの原因やがん検診などについて知ることを通して、自分や大切な人のために、自分にできることを考える。

3 展開

学習活動・学習内容	教師の働きかけ (T) と評価 (☆)
<p>1 がんについての知っていることやイメージについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【問1】</b>                      がんと聞いて知っていることはありますか？                      どんなイメージをもっていますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡原因 (2013年)</li> <li>・早期発見によるデータ</li> </ul>	<p>T1 : がんと聞いて最初に抱いているイメージを確認する。</p> <p>T1 : 早期発見すれば95%は治るというデータを提示することで、実際にはがんに対するイメージと異なることを実感できるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">                     がんについて正しく学び、自分や大切な人たちのためにできることを考えよう。                 </div>	
<p>2 がんの原因について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【問2】</b>                      日本では一生のうちどのくらいの人のがんになっているのでしょうか。</p> <p>① 2人に1人                      ② 10人に1人                      ③ 100人に1人</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの原因</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【問3】</b>                      生活習慣で気をつけることにはどんなことがあるのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんになるリスクを下げる5つの生活習慣</li> <li>・がんについての基礎知識 (動画)</li> </ul>	<p>T1 : クイズ形式にすることにより、どの児童も意欲的に取り組むことができるようにする。</p> <p>T1 : 年齢とともに罹患率が少しずつ上がることを押さえることにより、児童の不安を和らげるようにする。</p> <p>T2 : がんの原因や生活習慣について説明する。</p> <p>T1 : 恐怖心を植え付けないよう配慮しながら説明する。</p> <p>T2 : がんの原因の生活習慣を取り上げる際、全て生活習慣が原因ではないことを押さえ、「がん=生活習慣の乱れ」と直結しないようにする。</p> <p>T1 : 生活習慣で気をつけることをくらげチャートに書いていき、自分たちで考えることができるようにする。</p> <p>T1 : 動画でより理解を深められるようにする。</p>

<p>3 がんの早期発見の重要性を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【問4】 どうしたら早期発見できるでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診について</li> </ul> <p>4 自分たちにこれからどんなことができるか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のため</li> <li>・家族のため</li> <li>・地域のため</li> </ul> <p>5 学びをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的立場からのメッセージ</li> </ul>	<p>T 1 : 1 で取り上げたデータに戻り、早期発見の重要性を理解できるようにする。</p> <p>T 2 : 対象年齢や検診の種類があることを、図をもとに簡単に説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>～ポイント～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんは生活習慣による予防と検診による早期発見が重要。</li> </ul> </div> <p>T 1 : がんの基本的な知識を学んだことで、自分や家族、地域の大人に対して自分にできることを考えることができるようにする。</p> <p>T 1 : Yチャートを用いることで、視点を分けて自分たちにできることを考えられるようにする。</p> <p>T 1 : 地域のために自分たちができることについて主に話し合い、次時につなげる。</p> <p>T 1 : 家族のためにできることについては、家族に伝えることを課題にし、家庭で話し合うことで、実践により近づけることができるようにする。</p> <p>T 2 : 話し合いの中で、質問事項に返答したり、児童の考えを価値付けたりして、児童が主体的に考えることができるようにする。</p> <p>☆学習した内容から、自分たちができることを考え、班で伝え合うことができたか。</p> <p>T 2 : 専門的立場から、これからの自分たちや家族の生活について、メッセージを伝える。</p> <p>T 1 : がんに対する知識だけでなく、自分や大切な人に関わる命を大切にしてほしいという思いを伝える。</p>
--	--

使用した映像 (P. 38 資料2 参照)

がん教育推進のための教材 補助教材 (文部科学省)

・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」(前半・後半を分けて視聴)

第6学年 学級活動学習指導案

指導者 T1 教諭

T2 がん看護専門看護師

1 題材名 「がんについて考えよう」(2/2)

2 主眼 平田の人のがんについて伝えるポスターの内容を考える活動を通して、自分の学びを大切な人のために生かそうとすることができる。

3 展開

学習活動・学習内容	教師の働きかけ (T) と評価 (☆)
<p>1 がんに対する前時のイメージと、今の自分の考えとを比較する。</p> <p>2 山口県のがんの検診率について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【問】</b> 山口県のがん健診を受けている人の割合は全国で何位ぐらいだと思いますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検診に行かない原因</li> <li>・がん経験者によるメッセージ (動画)</li> </ul>	<p>T1：前時からがんのイメージについて変容したことや初めて知ったことを発表する。</p> <p>T1：早期発見するには、がん検診を受けることが大切であることを再度押さえ、山口県は検診率が低いことを視覚的に示す。</p> <p>T2：検診に行かない人の主な原因を説明する。</p> <p>T1：前時に話し合った地域にできることを取り上げ、1人でも多くがんについて考えてもらうために地域に啓発することを目的にする。</p> <p>T1：山口県のがん検診の啓発ポスターを提示し、さらに啓発できるように児童に投げかける。</p> <p>T1：総合的な学習の時間と関連させて、ポスター作りをすることを伝える。</p> <p>T1：がん経験者のメッセージを聞くことで、より身近な人に向けたがん検診の啓発の重要性を実感させたい。</p>
<p>平田の人が一人でも多くがんについて考えてもらうために、どんなことを伝えるとよいただろう。</p>	
<p>3 啓発するために必要なメッセージを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県の現状</li> <li>・早期発見の重要性</li> <li>・生活習慣の大切さ</li> </ul>	<p>T1：検診に行かない原因が、「こわい」「面倒」「自分ではないという過信」の3つに大きく分けられるため、その原因の人に向けたポスターにしても良いことを知らせる。</p> <p>T1：県のポスターを例示することで、参考にするとともに、子どもの目線で伝えられる内容にしていくことを伝える。</p> <p>T1：ポスターに載せたら良い内容を付箋に書き、意見をグルーピングし、ポスターに書く内容や言葉を考えていく。</p> <p>T1：知識だけではなく、子どもという立場から、大切な人に向けての言葉が伝えられるよう声をかけていく。</p>

<p>4 話し合った内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グルーピングの仕方</li> <li>・アイデアの共有</li> <li>・ポスターづくりへの意欲付け</li> </ul> <p>5 学びをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時への意欲付け</li> <li>・専門的立場からのメッセージ</li> </ul>	<p>T 2 : 児童が話し合っている内容を見ながら、アドバイスをする。</p> <p>T 2 : ポスターを作る上で児童が必要とする情報があれば助言していく。</p> <p>☆前時や本時で学んだことを生かしながら、ポスターの内容を考え、友だちに伝えることができたか。</p> <p>T 1 : いくつかの班を紹介し、良いところなどを共有していき、相手によって伝える内容や言葉に工夫がいることを押さえる。</p> <p>T 2 : 内容や言葉について価値付けたり、助言したりして、次時のポスターづくりに生かせるようにする。</p> <p>T 2 : 大切な人たちが健康であるために、どのような地域づくりをしてほしいか、専門的立場からの願いを伝える。</p>
---	--

使用した映像 (P. 38 資料2 参照)



がん教育推進のための教材 補助教材 (文部科学省)

- ・小学校版 映像教材「がんと生きる」エピソード1: がん経験者男性

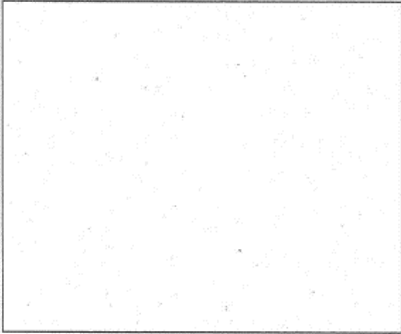
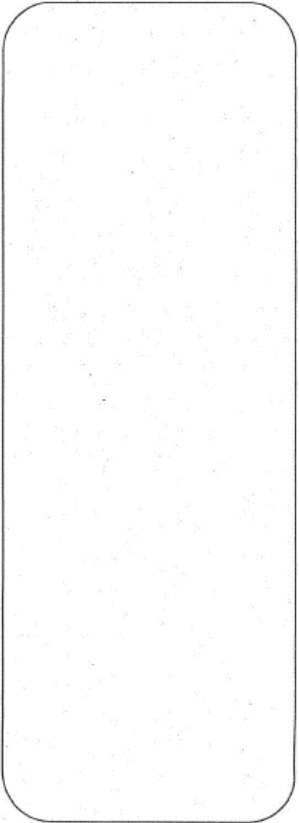
がんについて考えよう②

名前 ( )

1 がんについてイメージが変わったことはありますか？どんなことがわかりましたか？



2

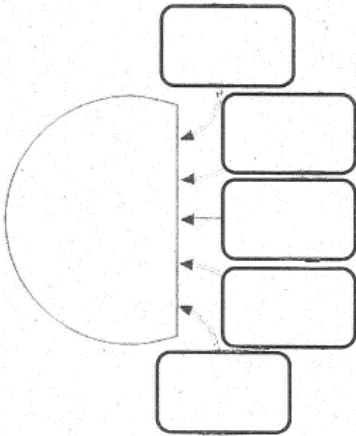

がんについて考えよう①

名前 ( )

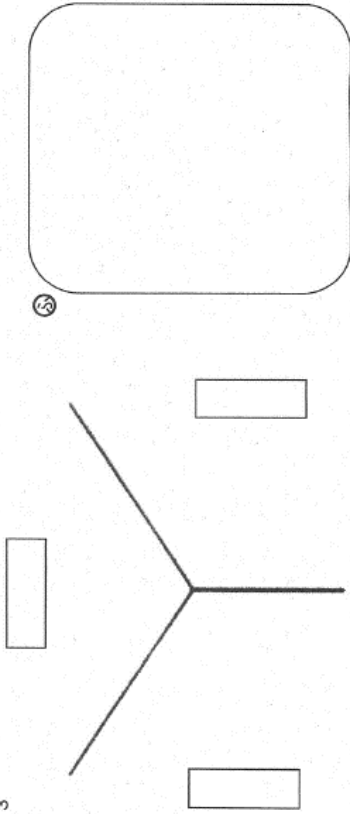
1 がんと聞いたイメージはどんなことがありますか？

2

3



- 1 単元名 「健康な生活と疾病の予防」～生活習慣病などの予防 (がんの予防)～ (1/2)
- 2 主眼 がんについての基本的な知識を習得し、それをもとに将来にわたってがんを予防し、健康な生活を送るための方策を主体的に考えようとする事ができる。
- 3 展開

学習活動 ○予想される生徒の反応	指導上の留意点 ☆評価
1 自分の現在や未来の健康について考える。 <b>【問1】</b> 日本人の3大死因は何ですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の健康について考えることを話し、学習への動機付けとする。</li> </ul>
2 「がん」について知る。 めあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         「がん」について正しく知り、どんなことに気をつけて生活していけば良いか考えよう。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんと聞いて、最初に抱いているイメージを確認する。</li> </ul>
<b>【問2】</b> 日本ではどれくらいの方が「がん」になっていますか？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ○予想される生徒の反応                          ・10人に1人 ・5人に1人                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズ形式にすることにより、意欲的に取り組むことができるようにする。</li> <li>・生徒の周りに「がん」を経験した人がいることを踏まえ、不安を取り除く声かけを行う。</li> </ul>
<b>【問3】</b> 日本ではがんが原因でどれくらいの方が亡くなっていると思いますか？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         ○予想される生徒の反応                          ・10人に1人 ・5人に1人                     </div>	
<b>【文部科学省の資料動画】</b> ・どうしてがんになるの？ ・がんにならないためにはどうすればいいの？ ※3分17秒	
3 がんて亡くなるリスクを減らすための方策を理解する。 <b>【がんの主な要因】</b> ①生活習慣 ②感染 子宮頸がん 胃がん ③遺伝的要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣が「がん」の要因となることを、グラフを示して理解させる。</li> <li>・生活習慣ががんの大きな要因となることをおさえつつ、すべてのがんが生活習慣に起因しているものではないことをおさえる。</li> <li>・感染や遺伝的な要因について、原因がよくわからないことが多いことを理解させる。</li> </ul> ☆がんの基本的な知識を理解することができたか。(ワークシートへの記入)



<p>4 がんの早期発見の重要性を理解する。</p> <p><b>【問4】</b> 「がん」を早期発見すると、どれくらいの人が治るのだろうか？</p> <p>○予想される生徒の反応 ・30% ・50% ・70%</p> <p><b>【問5】</b> がん検診の受けている人の割合ってどれくらい？</p> <p>○予想される生徒の反応 50%</p> <p><b>【問6】</b> 山口県のがん検診率は、全国何位？</p> <p>○予想される生徒の反応 ・全国平均と同じくらい。 ・全国平均よりも低い。</p> <p>5 がんにかかるリスクを減らすためには、どうすればいいのか考える。</p> <p><b>【問7】</b> あなたはどんなことに気をつけて生活しますか？ 大切な人にどんなアドバイスをしますか？</p> <p>個で考える。(ワークシート) 班で話し合う。</p> <p>○予想される生徒の反応 ・大人になってもたばこは吸わない。 ・生活習慣に気をつけて生活する。 ・がん検診を受ける。</p> <p><b>【アドバイス】</b> ・早期発見なら治る、検診に行こう。 ・がん予防のために、禁煙してほしい。 ・お酒をあまり飲み過ぎないで。 ・がん検診に行く割合が低いから、検診に行くようにアドバイスする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見すれば 95%は治るというデータを提示し、「がん検診」の重要性を認識させる。</li> <li>・がん検診の受診率が低いことが課題であることを理解させる。</li> <li>・がんの基本的な知識を学んだことで、自分の現在や将来の生活について考えることができるようにする。 また、家族や周りの大人など、大切な人に対するアドバイスを考えることで、より身近な問題として「がん」をとらえられるようにする。</li> </ul> <p>☆学習した内容から、がんを防ぐための方策を主体的に考え、まとめることができたか。(ワークシートへの記入)</p>
<p>6 本時の学習を振り返る。 (ワークシートへの記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識をもち、授業の中で考えた方策を実生活に生かしてくようにさせる。</li> </ul>

使用した映像 (P. 38 資料2 参照)

がん教育推進のための教材 補助教材 (文部科学省)

- ・小学校版 映像教材「がん博士の『がんについての基礎知識』」 (後半視聴)



<p>④ 事例やビデオメッセージで、実際のがんになった人の思いを知る。 文部科学省資料 事例①～③ (P. 25) 文部科学省 動画①</p> <p>看護師の視点からの事例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○事例やビデオメッセージの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんだとわかったときの心情。</li> <li>・生活習慣が原因だったのではないかという指摘から受けるつらさ。</li> <li>・がんに対する誤った理解から受ける絶望感。</li> <li>・周りのがんに対する理解が力になる。</li> <li>・やりたい仕事をして充実している。</li> <li>・家族の健康を気にしている。</li> <li>・健康であれば夢が叶う。</li> </ul> </div> <p>⑤ もう一度、個で考える。(ワークシート)</p> <p>⑥ 考えを共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心配だけでなく、普通に接することが大切。</li> <li>・正しい知識から、希望をもって生きる言葉をかける。</li> <li>・様々な面で支え合える社会を実現する。</li> <li>・患者の思いを理解する。</li> <li>・家族として頑張ることで力になる。</li> <li>・相手の立場を考えて接したり、声をかけたりする。</li> </ul> </div>	<p>T1:動画や資料を提示することで、心配や優しさだけでなく、正しい知識からがんは治る病気であること、普通に接することが大切であることを理解させる。また、できるだけ日常生活を送れるように支えていくことが大切なことを理解させる。</p> <p>T2:専門的な立場から、実際の患者の思いを生徒に伝える。</p> <p>T1:生徒の発表から、正しい知識をもち、相手の立場で希望ある言葉をかけたり、接したりすることの大切さについて理解を深めさせる。</p> <p>☆幅広い視野でがんと向き合う人への接し方について自主的に考え、まとめることができたか。 (発表、行動観察、ワークシートへの記入)</p>
<p>3 本時の振り返りをする。 専門的立場から中学生へのメッセージを送る。</p> <p>がん教育の感想を書く。</p>	<p>T2:専門的な立場から、中学生に対する思いを伝える。</p> <p>T1:がんの授業を通じて、感じたことや考えたことをじっくりと書くように声かけをする。</p>

使用した映像 (P. 38 資料2 参照)

がん教育推進のための教材 補助教材 (文部科学省)

- ・小学校版 映像教材「がんと生きる」エピソード2 : がん経験者女性

## こんな事例があるそうです…



がん患者とどのように接すればよいのだろう

### 事例1

友人にがんになったことを伝えたとき、「生活習慣が悪いからがんになったんだ」と、あつけらかんと言われました。



わたしは共働きで、妻と交代で食事を作っていました。常にバランスの良い食事を心がけていたつもりですし、妻も責められているような気持ちになり、悲しくなりました。がんに対する誤解や決めつけがなくなればと思います。



がん患者とどのように接すればよいのだろう

### 事例2

親戚にがんになったことを伝えたとき、「かわいそう」と泣き出されてしまいました。



心配してくれてありがたいという気持ちはあったものの、親戚の態度に、もうわたしは治らないのではないかと、死を待つしかないのではないかとという気持ちになり落ち込みました。

(患者手記より)



がん患者とどのように接すればよいのだろう

### 事例3

友人といる時間は、病気とは何の関係もない自分でいられる時間です。



何でもない話をして、一緒に笑って、ともに過ごすことで、「患者」としてではない、これまで通りの「自分」を取り戻せるような気がします。

(患者手記より)

使用した教材 (P. 38 資料2 参照)

文部科学省スライド教材 モジュール9 (一部改)

**がん教育 ワークシート①**

組 番 氏名 \_\_\_\_\_

めあて \_\_\_\_\_

1. がんについて知ろう！

① 日本人の死亡原因で多いもの \_\_\_\_\_

② 日本ではどれくらいの方ががんになっていると思いますか？ \_\_\_\_\_

③ 日本ではがんが原因でどれくらいの方が亡くなっていると思いますか？ \_\_\_\_\_

【がん】ってどんな病気？  
メモ \_\_\_\_\_

細胞分裂するとき変異し( )化したものが【がん】

【がん】にならないためにできることは？がんの原因って何？

① ( ) を気をつける ( 整える )  
 具体的には  
 ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) ( ) ( ) ( )

→ ( ) だけが原因ではない

② 感染 } ( ) ( ) ( ) で治すことができる

③ 遺伝的原因

【がん検診】は大切...理由は？

① 検診でがんを早期発見するとどれくらいの方が治るのだろうか？ \_\_\_\_\_

② 検診を受けている人の割合ってどれくらい？ \_\_\_\_\_

③ 山口県は？ \_\_\_\_\_

④ がん検診を「 \_\_\_\_\_ 」理由って何だろうか？ \_\_\_\_\_

振り返り＆家族へのアドバイス

今日の授業を受けて、あなたはどうなるかを気をつけて生活しますか？  
 大切な人にどんなことをアドバイスしますか？  
 ※授業で知ったことを根拠にして、大切な人にアドバイスしよう！

\_\_\_\_\_

**がん教育 ワークシート②**

組 番 氏名 \_\_\_\_\_

めあて

あなたが大人になったとき…  
あなたの友人や家族が【がん】になったら…どのように接しますか？

1. 前回の授業の復習をしよう！

①日本ではどれくらいのがんがんになっていると思いますか？  
(            ) 人に一人

②日本ではがんが原因でどれくらいの人が亡くなっていると思いますか？  
(            ) 人に一人

③検診を受けている人の割合でどれくらい？  
全国では (            ) %に達していない

④山口県は？  
全国的に見ても検診率が (            )

**【考えてみよう】**  
あなたが大人になったとき…  
あなたの友人や家族が【がん】になったら…どのように接しますか？

**【自分の考え】**

**【もう一度書いてみよう！】**

2時間の「がん」についての学習を通じて、わかったことや考えたこと、感じたことを書こう。

山口県立岩国高等学校

第1学年 保健体育科学習指導案

指導者 T1 教諭(保健体育科)  
T2 山口県立大学准教授

- 1 単元名 現代社会と健康  
～生活習慣病などの予防と回復(がん患者の生活の質 がん患者への理解と共生)～
- 2 主眼 がんの現状を踏まえて、がん患者と共に生活するために必要な取り組みについて理解することができる。  
がん患者との共生に必要な視点や考え方を知り、患者が暮らしやすい社会について考え、表現することができる。
- 3 展開

学習活動・予想される生徒の反応	指導上の留意点・評価
1 本時の目標と流れを知る。	T1 本時の目標をスライドで提示し、学習内容を把握させる。 T1 本時の流れをスライドで提示する。 T1 「専門家」としてT2の先生を紹介する。
2 がんについて次の4点を理解する。 (1)がんは誰でもなるリスクがあること (2)がん=死ではないこと (3)がんの特徴 (4)医療の背景	T1 がんについて簡潔に説明をする。 T1 身近な人を亡くした生徒がいる場合は、様子を観察して配慮する。 T1 (1)、(2)について説明を行う。 T2 (3)、(4)について説明を行う。
『問1』 T1：がん患者は何を望み、何を求めているのだろうか。	
<p>①事例①、②(P.30)を参考にしながら学習プリントに箇条書きで意見を記入する。</p> <p>②周囲の意見も取り入れながら、自分の考えをまとめ発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈予想される生徒の声〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く治ること。</li> <li>・誰かにそばにいてほしい。</li> <li>・働きたい。 ・おいしいものが食べたい。</li> <li>・生きたい ・死にたくない。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>専門家の説明を聞く。</p> </div>	<p>T1 事例①、②はスライド提示後、プリントにして配布。 T1 机間巡視を行い、意見を確認する。</p> <p>T1 良い点、悪い点関係なく自由に記入させる。 T1 自分の学習プリントを机の上に見えるように置き、30秒間時間を与え、他の人の意見を見て回らせる。 良い意見は自分のプリントへ追記させる。</p> <p>T1 発表した意見はすべて板書する。 T1 がんへの向き合い方は人それぞれであり、自分にあった治療方法を選ぶことと、QOLの維持、向上が大切であることに触れる。</p> <p>T2 事例①、②について具体的に説明する。事例の背景には何があるのか話を深めていく。</p>

<p>③T2の説明から、事例①、②の背景にあるものを考え、足りなかった部分を学習プリントに書き加える。</p> <p>4 がん患者が暮らしやすい社会について考える。</p>	
<p>『問2』がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろうか。</p>	
<p>①事例③(P.30)を参考にしながら、学習プリントに箇条書きで意見を記入する。</p> <p>②周囲の意見も取り入れながら、自分の考えをまとめ発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈予想される生徒の声〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発病前と同じような生活ができる社会</li> <li>・病気であることを受け入れてくれる社会</li> <li>・医療費を負担してくれる社会</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>専門家の説明を聞く。</p> </div> <p>③T2の説明から、事例③の背景にあるものを考え、足りなかった部分を学習プリントに書き加える。</p>	<p>T1 事例③はスライド提示後、プリントにして配布。T1 机間巡視を行い、意見を確認する。</p> <p>T1 自分の学習プリントを机の上に見えるように置き、30秒間時間を与え、他の人の意見を見て回らせる。良い意見は自分のプリントへ追記させる。</p> <p>T1 発表した意見を板書する。</p> <p>T1 誰もがなる可能性がある病気であるためにみんなが安全安心に生活できるように互いに協力し合うことが大切であると理解させる。</p> <p>T2 がん患者の願いを理解させ、がんについて正しく理解することががん患者との共生につながることを理解させる。</p> <p>☆がん患者と共に生活するために必要な取り組みについて理解することができる。〔学習プリント〕</p>
<p>5 まとめ</p> <p>本時の内容を振り返りながら、次のテーマについて自分の意見を学習プリントに記入する。</p>	<p>T1 本時の内容で重要だった点を確認する。</p>
<p>誰もが暮らしやすい社会にするためにはあなたは何かができますか。</p>	
	<p>☆がん患者の生活の質の向上から、暮らしやすい社会について考え、表現することができる。</p> <p style="text-align: right;">〔学習プリント〕</p>





## がん患者は何を望み 何を求めているのだろう

資料①

### 事例 1

進行したがんとなり、抗がん剤治療を続けている。

仕事を続けるため、通院しながらできる治療方法を選んだ。

子どもに病気のことをどう話すか悩んでいるが、今は家族との時間を何よりも大切に過ごしたいと思っている。



## がん患者は何を望み 何を求めているのだろう

資料②

### 事例 2

乳がんで胸に大きな傷が残り、自信を失って閉じこもりがちになっていた。

患者の会に入って同じ乳がんの仲間と出会い、貸切で温泉に入ることができるようになった。好きだった旅行を楽しむことができるようになった。

これからも生き生きと自分らしく生きたいと思っている。



## がん患者が暮らしやすい社会 とはどのような社会だろう

資料③

営業の仕事で働いていましたが、30代でがんとなり、手術と抗がん剤治療を受けました。今も定期的に病院に行って体調を管理しています。

体力が戻りきらず、仕事を続けることが難しくなり、退職せざるをえませんでした。

好きな仕事だったので、本当に残念でした。

ただその後、病気のことを理解してくれる職場と出会い、今は、体調を優先して働くことができます。



使用した教材 (P. 38 資料2 参照)

文部科学省スライド教材 モジュール8、モジュール9 (一部抜粋)

R2. 10. 29

ワークシート 「がん教育」がん患者の生活の質 がん患者への理解と共生

組 番 氏名 \_\_\_\_\_

〈目標〉

- ・日本におけるがんの現状を踏まえて、がん患者とともに生活するために必要な取り組みについて理解する。
- ・がん患者との共生に必要な視点や考え方を知り、患者が暮らしやすい社会について考え、表現することができる。

- 〈がんについて〉

〈問1〉がん患者は何を望み、何を求めているのだろうか。 ※資料①、資料②を参考に

- ・
- ・

〈問2〉がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろうか。

- ・
- ・
- ・

〈まとめの感想〉

- 今日の授業を踏まえて、誰もが暮らしやすい社会にするためにはあなたには何ができますか？

- ・
- ・

- 本時の感想を自由に記入しよう。

メモ欄

## 參考資料

**資料 1**

学習指導要領及び学習指導要領解説における「がん」に関する記載部分

【小学校学習指導要領】（平成29年3月告示）抜粋

教科：第9節 体育

第2 各学年の目標及び内容

2 内容

G 保健

(3) 病気の予防について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 病気の予防について理解すること。

(ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であること。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

**【解説】**

ア 知識

(ウ) 生活行動が主な要因となって起こる病気の予防

生活行動が主な要因となって起こる病気として、心臓や脳の血管が硬くなったりつまったりする病気、むし歯や歯ぐきの病気などを適宜取り上げ、その予防には、全身を使った運動を日常的に行うこと、糖分、脂肪分、塩分などを摂りすぎる偏った食事や間食を避けたり、口腔の衛生を保ったりすることなど、健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解できるようにする。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

⑦ 喫煙については、せきが出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓のはたらきに対する負担などの影響がすぐに現れること、受動喫煙により周囲の人々の健康にも影響を及ぼすことを理解できるようにする。なお、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。

【中学校学習指導要領】（平成29年3月告示）抜粋

教科：第7節 保健体育

第2 各学年の目標及び内容

〔保健分野〕

2 内容

(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(イ) 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。

(ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。

(カ) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用すること。

※ (1)のアの(イ)及び(ウ)については、がんについても取り扱うものとする。

【解説】〔保健分野〕

(1) 健康な生活と疾病の予防

(ウ) 生活習慣病などの予防

㉞ 生活習慣病の予防

生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な策を講ずることにより予防できることを、例えば、心臓病、脳血管疾患、歯周病などを適宜取り上げ理解できるようにする。

その際、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で動脈硬化が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食

事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

#### ④ がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、③、④の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。

### (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

#### ⑦ 喫煙と健康

喫煙については、たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な疾病を起こしやすくなることを理解できるようにする。特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、ニコチンの作用などにより依存症になりやすいことを理解できるようにする。

### (カ) 健康を守る社会の取組

健康の保持増進や疾病の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取組とともに、社会の取組が有効であることを理解できるようにする。社会の取組としては、地域には保健所、保健センターなどがあり、個人の取組として各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることを理解できるようにする。

その際、住民の健康診断や健康相談などを適宜取り上げ、健康増進や疾病予防についての地域の保健活動についても理解できるようにする。

また、心身の状態が不調である場合は、できるだけ早く医療機関で受診することが重要であることを理解できるようにする。さらに、医薬品には、主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。

## 【高等学校指導要領】（平成30年3月告示）抜粋

### 第2款 各科目

#### 第2 保健

##### 2 内容

(1) 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 現代社会と健康について理解を深めること。

(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。

(4) 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康を支える環境づくりについて理解を深めること。

(ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。

※ (1)のアの(ウ)においては、がんについても取り扱うものとする。

### 【解説】

(1) 現代社会と健康

(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。

その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗

がん剤など)、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。

また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。

なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。

#### (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

##### ⑦ 喫煙、飲酒と健康

喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。その際、周囲の人々や胎児への影響などにも触れるようにする。

また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。その際、好奇心、自分自身を大切にす気持の低下、周囲の人々の行動、マスメディアの影響、ニコチンやエチルアルコールの薬理作用などが、喫煙や飲酒の開始や継続の要因となることにも適宜触れるようにする。

#### (4) 健康を支える環境づくり

##### (ウ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関

##### ① 地域の保健・医療機関の活用

健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解できるようにする。

その際、心身の健康の保持増進にとって、豊かなスポーツライフの実現が重要であることから、生涯スポーツの実践を支える環境づくりやその活用についても触れるようにする。



## 資料2

### がんに関する教材や指導参考資料

#### ○文部科学省資料

#### □がん教育推進のための教材 補助教材【令和3年3月改訂】

ホームページURL :

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1385781.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm)

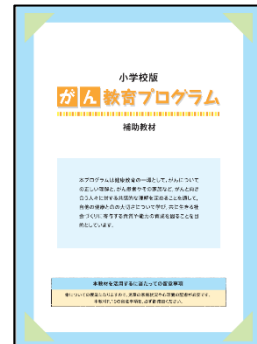
#### 【小学校】

##### ○補助教材：教師用指導参考資料

##### ○映像教材

- ・がん博士の「がんについての基礎知識」
- ・「がんと生きる」エピソード1：がん経験者男性
- ・「がんと生きる」エピソード2：がん経験者女性

##### ○ワークシート



#### 【中学校・高等学校】

##### ○補助教材：教師用指導参考資料

##### ○スライド教材 (PDF版、PowerPoint版)

- ・モジュール1：がんという病気 (15スライド)
- ・モジュール2：日本のがんの現状 (12スライド)
- ・モジュール3：がんの発生と進行 (16スライド)
- ・モジュール4：がんの予防 (13スライド)
- ・モジュール5：検診の意味 (12スライド)
- ・モジュール6：がんの治療で大切なこと (11スライド)
- ・モジュール7：がん治療の支援 (14スライド)
- ・モジュール8：がん患者のおもい (5スライド)
- ・モジュール9：がん患者とともに生きる社会 (13スライド)



#### □がん教育推進のための教材【令和3年3月一部改訂】

ホームページURL :

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1369992.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369992.htm)



#### □外部講師を用いたがん教育ガイドライン【令和3年3月一部改訂】

ホームページURL :

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1369991.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369991.htm)

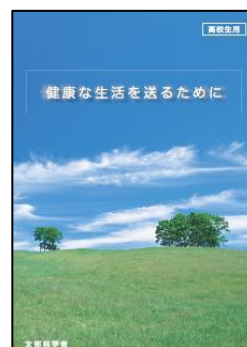


## □健康教育関連資料

ホームページURL :

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1353636.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353636.htm)

- ・わたしの健康（小学生用）
- ・かけがえのない自分 かけがえのない健康（中学生用）
- ・健康な生活を送るために（高校生用）



- ・改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引
- ・改訂『生きる力』を育む中学校保健教育の手引
- ・改訂『生きる力』を育む高等学校保健教育の手引

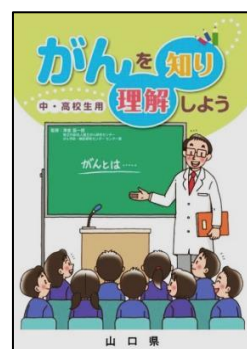


## ○山口県健康福祉部地域医療推進室資料

ホームページURL :

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11700/ganntaisaku/201503250002.html>

- ・がんを知り理解しよう（小学校5～6年生用）
- ・がんを知り理解しよう（中・高校生用）



## ○公益財団法人 日本対がん協会 資料

ホームページURL : <http://www.jcancer.jp/cancer-education/index.html>

- ・文部科学省選定 がん教育アニメ教材  
「よくわかる！がんの授業」 等



学校におけるがん教育推進のために

平成29年7月  
山口県教育庁学校安全・体育課

**1 がん教育の必要性** (参考:「学校におけるがん教育の在り方について」報告)P.1 ※以後(報告)  
学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成することをめざして実施していくことが重要である。近年、疾病構造の変化や高齢社会など、児童生徒を取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化してきており、健康教育もそれらの変化に対応したものであることが求められる。中でも、国民の二人健康教育もそれぞれの変化に対応したものであることが求められる。がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であるとの指摘もあり、がんについて学ぶことで、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められている。

**2 がん教育の定義** (参考:報告 P.2)  
がん教育とは、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育のこと。

**3 がん教育の目標** (参考:報告 P.2)  
○ がんについて正しく理解することができるようにする  
○ 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

**4 がん教育の具体的な指導内容(例)** (参考:報告 P.2~4)  
・がんとは(がんの要因等) ・がんの種類とその経過 ・我が国のがんの状況  
・がんの予防 ・がんの早期発見、がん検診 ・がんの治療法  
・がん治療における緩和ケア ・がん患者の生活の質 ・がん患者への理解と共生 等

**5 がん教育を実施する上での留意点** (参考:報告 P.4~6)  
(1) 学校教育活動全体での推進  
がん教育が健康教育の一環として行われることから、学習指導要領総則1の3を踏まえ、体育科、保健体育科を中心に基礎的知識を身に付けさせるとともに、関連する教科等(他教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等)を含めて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。

(2) 発達段階を踏まえた指導



平29教安体第373号  
平成29年(2017年)7月13日


各県立学校長 様

学校安全・体育課長

「学校におけるがん教育推進のために」の送付について

平素から、学校保健活動の推進に御尽力いただきありがとうございます。  
さて、県教委では、「学校におけるがん教育の在り方について(通知)」(平成27年4月20日付け平27教安体第70号)のとおり、本年度から全国に展開されているがん教育の実施に向けて、この度、学校におけるがん教育の基本的な考え方や進め方を主な内容とする「学校におけるがん教育推進のために」を作成しました。

つきましては、貴校関係者に周知いただくとともに、がん教育が各学校において、保健体育科を中心に教育活動全体を通じて適切に行われますようお取り計らい方よろしくお願いたします。  
なお、本資料P.3「(4)がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等に係る相談など関係機関との連携」にあたっては、(別紙1)「各関係機関との連携にあたっての留意事項(県立学校版)」を御参照の上、御検討くださるようお願いいたします。



山口県教育庁 学校安全・体育課  
こども元氣づくり班 担当: 藤井 学  
TEL : 083-933-4685 FAX: 083-922-8737  
E-mail: fujii.manabu@pref.yamaguchi.jp



がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、中学校・高等学校においては取り扱うことが望ましいと考えられる。また、健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で児童生徒の発達段階を踏まえた内容での指導が考えられる。

**(3) がんに関する教材や指導参考資料の活用** (参考: 別添「がん教育に関する主な文書一覧」)  
 がん教育を進めるにあたっては、科学的根拠に基づいた内容に沿って指導を進める必要がある。児童生徒の発達段階に応じた分かりやすい教材と指導参考資料を活用することが重要である。

〈参考〉

- ・わたしの健康 (小学生用) 【文部科学省】
- ・かけがえない自分 かけがえない健康 (中学生用) 【文部科学省】
- ・健康な生活を送るために (高校生用) 【文部科学省】

文部科学省のホームページからPDFファイルでダウンロードが可能  
 ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1353636.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353636.htm)



・がんを知り理解しよう (小学校5～6年生用)

【平成26年3月 山口県健康福祉部地域医療推進室】

・がんを知り理解しよう (中・高校生用)

【平成26年3月 山口県健康福祉部地域医療推進室】



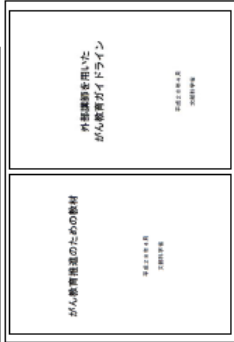
山口県健康福祉部医療政策課のホームページからPDFファイルでダウンロードが可能  
 ホームページURL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a/11700/kanntaisaku/201503250002.html>

・がん教育推進のための教材【平成28年4月 文部科学省】

ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1369992.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369992.htm)

・外部講師を用いたがん教育ガイドライン【平成28年4月 文部科学省】

ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1369991.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369991.htm)



・「がん教育教材」の指導案 (小学校: 道徳、中学校: 保健体育科・特別活動、高等学校: 保健体育科・特別活動)【平成28年6月 文部科学省】

・日本対がん協会HP「よくわかる!がんの授業」

【平成28年11月 公益財団法人 日本対がん協会】

ホームページURL: <http://www.jcancer.jp/cancer-education/index.html>

・がん教育推進のための教材指導参考資料【平成29年5月 文部科学省】

ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1385781.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm)

【小学校】

○補助教材: 教師用指導参考資料

- ・がんについての基礎知識 (6分35秒)
- 映像教材: 「がんと生きる」エピソード1: がん経験者男性 (5分24秒)
- エピソード2: がん経験者女性 (5分03秒)

○ワークシート

【中学校・高等学校】

○補助教材: 教師用指導参考資料

- スライド教材
- ・モジュール1: がんという病気 (15スライド)
- ・モジュール2: 日本のがんの現状 (12スライド)
- ・モジュール3: がんの発生と進行 (16スライド)
- ・モジュール4: がんの予防 (13スライド)
- ・モジュール5: 病状の意味 (12スライド)
- ・モジュール6: がんの治療で大切なこと (11スライド)
- ・モジュール7: がん治療の支援 (14スライド)
- ・モジュール8: がん患者のおもい (6スライド)
- ・モジュール9: がん患者とともに生きる社会 (13スライド)

(4) がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等に係る相談など関係機関との連携  
 専門的な内容を含むがん教育を進めるにあたっては、地域や学校の実情に応じた情報の収集・活用や、学校医をはじめとして、がんの専門医、保健行政関係者、がん経験者等の外部講師の参加・協力を求めるなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。【参照: 別紙1「各関係機関との連携にあたっての留意事項 (県立学校版)」】

7 がん教育に関する政府と文部科学省、県教育委員会のスケジュール  
 (参考：外郭講師を用いたがん教育ガイドライン P.5)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度～
政府	がん対策推進基本計画(平成24年6月策定)【平成24年度～平成28年度までの5年間】 ○がんの発生、普及予防、治療の進歩のなかで「がん患者」をとりよせながら、継続的に「がん患者」の生活の質を向上させる。	がん対策推進基本計画(平成24年6月策定)【平成24年度～平成28年度までの5年間】 ○がんの発生、普及予防、治療の進歩のなかで「がん患者」をとりよせながら、継続的に「がん患者」の生活の質を向上させる。	がん対策推進基本計画(平成24年6月策定)【平成24年度～平成28年度までの5年間】 ○がんの発生、普及予防、治療の進歩のなかで「がん患者」をとりよせながら、継続的に「がん患者」の生活の質を向上させる。	がん対策推進基本計画(平成24年6月策定)【平成24年度～平成28年度までの5年間】 ○がんの発生、普及予防、治療の進歩のなかで「がん患者」をとりよせながら、継続的に「がん患者」の生活の質を向上させる。	がん対策推進基本計画(平成24年6月策定)【平成24年度～平成28年度までの5年間】 ○がんの発生、普及予防、治療の進歩のなかで「がん患者」をとりよせながら、継続的に「がん患者」の生活の質を向上させる。
文部科学省	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)
山口県教育委員会	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)	「がん」に関する統計等 ○がんの発生率(がん登録) ○がんの死亡率(がん登録) ○がんの罹患率(がん登録) ○がんの生存率(がん登録) ○がんの発症率(がん登録) ○がんの転移率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録) ○がんの再発率(がん登録)

- 「学校におけるがん教育推進のために」作成における参考資料
- 「学校におけるがん教育の在り方について 報告」  
【平成27年3月「がん教育」の在り方に関する検討会】
  - ※ 本文中では「報告」と記載。
  - 「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」  
【平成28年4月 文部科学省】
  - 「小学校学習指導要領解説 体育編」  
【平成20年8月 文部科学省】
  - 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」  
【平成20年9月 文部科学省】
  - 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編・体育編」  
【平成21年12月 文部科学省】

(5) 配慮が必要な事項  
 がん教育の実施にあたっては、以下のような事例に該当する児童生徒の存在が把握できない場合についても授業を展開する上で十分に配慮する必要がある。  
 ・小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合  
 ・家族にがん患者がいる児童生徒や、家族がんで亡くした児童生徒がいる場合  
 ・生活習慣が主な原因とならないがんもあることから、特に、これらのがん患者が身近にいる場合  
 ・がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合

校種	学習指導要領及び学習指導要領解説 がんに関する部分	指導の充実に向けて (他教科等による学習、関係機関等との連携)
【第5学年及び第6学年】 【第3学年】	●生活習慣が乱れつつある病気の予防 ●望ましい生活習慣 ●偏りのない食事 ●口腔の衛生を保つこと ●喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ●喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること ●生活習慣・生活習慣と健康 ●食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活の継続 ●生活習慣の乱れと生活習慣病などのつながり ●喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ●心身への様々な影響 ●健康を損なう原因 ●個人の心理状態や人間関係、社会環境などの要因に対する適切な対処 ●個人の健康を守る社会の取組 ●個人の健康と社会的取組とのかかわり	○関連教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動での学習と関連させながら進める。 ○がんに関する教材や指導参考資料の活用(文部科学省や県健康福祉部が作成したもの等) ○学校医等の専門家との連携 ※学校医等の専門家と連携する際には、事前に学習内容等について十分な打合せを行う必要がある。
【保健体育(保健分野)】	●健康の保持増進と疾病の予防 ●生活習慣病と日常生活行動 ●喫煙、飲酒と健康 ●薬物乱用と健康 ●保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	○がんの予防 ○がんの早期発見、がん検診 ○がんの治療法 ○がんが原因となる臓器ケア ○がん患者の生活の質 ○がん患者への理解と共生等
【保健体育(保健分野)】	●健康の保持増進と疾病の予防 ●生活習慣病と日常生活行動 ●喫煙、飲酒と健康 ●薬物乱用と健康 ●保健・医療制度及び地域の保健・医療機関	○がんの予防 ○がんの早期発見、がん検診 ○がんの治療法 ○がんが原因となる臓器ケア ○がん患者の生活の質 ○がん患者への理解と共生等

(別紙1)

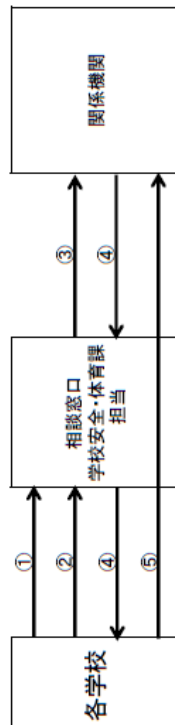
各関係機関との連携にあたっての留意事項（県立学校版）

- 1 **がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等に係る相談を希望するにあたって**  
 (1) 各関係機関に任せきりになることがないよう、既存の教材や指導参考資料等を十分に活用した担任・教科担任等による基礎的知識等に関する指導を実施した上で、情報提供や外部講師の派遣等に係る相談の必要性について検討する。  
 (2) 依頼内容、依頼時期、各関係機関の業務状況等によっては、希望どおりにならない場合もある。
- 2 **情報提供や外部講師の派遣等に係る相談の仕方について**  
 (1) 各関係機関【※参考：(別紙2)がん対策に取り組んでいる各関係機関】へ「借報提供や外部講師の派遣等に係る相談を希望する際の相談窓口は、すべて学校安全体育課担当とする。  
 ※学校医及びロータリークラブ「がん教育出前講座」へ相談する場合は、この限りではない。」

学校安全・体育課  
 こども元気づくり班 がん教育担当  
 TEL : 083-933-4685 FAX : 083-922-8737  
 E-mail : a505000@pref.yamaguchi.lg.jp

- (2) 事前に相談内容や依頼内容（日程、対象学年、指導内容、指導上の留意事項等）を明確にした上で、相談窓口（学校安全体育課 担当）に電話連絡をする。  
 ※外部講師について相談する際は、開催希望日の1ヶ月前までに連絡すること
- (3) 相談できる各関係機関は、原則として各学校が所在する地域の関係機関とする。

3 外部講師派遣の流れ



- ①【連絡・相談】…事前に外部講師派遣について相談
- ②【申込書（別紙3）の提出】
- ③【連絡・相談】…申込書（別紙3）をもとに派遣について相談
- ④【連絡】…講師派遣の可・不可について回答
- ⑤【詳細について連絡・調整、派遣申請書等の提出】

(別紙2)

〈参考：がん対策に取り組んでいる各関係機関〉

○各市町の地域保健主管課

市町名	担当課等	住所
岩国市	健康福祉部 健康推進課	岩国市室の木町三丁目 1-11
和木町	保健福祉課 保健相談センター	玖珂郡和木町和木一丁目 1-1
柳井市	健康福祉部 健康増進課	柳井市南町六丁目 12-1
周防大島町	健康増進課	周防大島町大字土居 1325-1
上関町	保健福祉課 健康増進係	上関町大字長島 503
田布施町	健康保険課	田布施町大字下田布施 3440-1
平生町	健康福祉課 保健班	平生町大字平生町 210-1
周南市	こども健康部 健康づくり推進課	周南市尻玉町一丁目 1
下松市	健康福祉部 健康増進課	下松市中央町 21-1
光市	福祉保健部 健康増進課	光市光井二丁目 2-1
山口市	健康増進課	山口市糸米二丁目 6-6
防府市	健康福祉部 健康増進課	防府市鞠生町 12 番 1 号
宇部市	健康推進課	宇部市琴芝町二丁目 1-10
山陽小野田市	健康福祉部 健康増進課	山陽小野田市日の出一丁目 1-1
美祿市	市民福祉部 健康増進課	美祿市大嶽町東分 345-1
下関市	保健部 成人保健課	下関市南部町 1-1
萩市	保健福祉部 健康増進課	萩市大字平安古町 209-1
長門市	市民福祉部 健康増進課	長門市東深川 1326-6
阿武町	民生課	阿武町大字奈古 2636



注 ロータークラブ「がん教育出前講座」の問い合わせ先は 「杉山医院 TEL : 0835-23-7104」 に変更

(別紙3)

「がん教育実施に係る外部講師参加・協力 申込書 (例)」

依頼先：関係機関名 ( )

学校名	TEL
校長名	FAX
連絡調整担当者名	E-mail

依頼内容	実施場面	実施対象
※これまでの指導内容や依頼したい指導内容を具体的に記載	( ) 内に○印を記載 ・( ) 授業 (教科等： ) ・( ) 講演・講話 ・( ) 校内研修 ・( ) 学校保健委員会 ・( ) その他	( ) 内○数字を記載 ・児童・生徒 ( ) 年生 ( ) 人 ・教職員 ( ) 人 ・保護者 ( ) 人 ・その他 ( ) 人

希望日時	
第1希望	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
第2希望	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
第3希望	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分

備考	
※その他	
依頼日時	

○各地域の健康福祉センター

市町名	健康福祉センター	担当課等	住所
岩国市 和木町	岩国健康福祉センター	保健課 健康増進課	岩国市三笠町一丁目1-1
柳井市 藤ノ郷町 上柳町 田布施町 平生町	柳井健康福祉センター	保健課 健康増進課	柳井市古開作中東条 658-1
周南市 下松市	周南健康福祉センター	保健課 健康増進課	周南市毛利町二丁目38
山口市	山口健康福祉センター	保健課 健康増進課	山口市吉敷下東三丁目1-1
防府市	防府支所	地域保健課	防府市駅南町13-40
宇部市 山陽小野市 美祿市	宇部健康福祉センター	保健課 健康増進課	宇部市常盤町2-3-28
長門市	長門健康福祉センター	保健課 健康増進課	長門市東深川1344-1
萩市 阿武町	萩健康福祉センター	保健課 健康増進課	萩市江向河添中田 531-1

○県内がん診療連携拠点病院等

市町名	がん診療連携拠点病院等	担当課等	住所
岩国市 和木町 柳井市	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	管理課	岩国市愛宕町一丁目1-1
防府市 上柳町 田布施町 平生町	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	医事課	柳井市古開作1000-1
光市 周南市 下松市	独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院	総務企画課	周南市孝田町1-1
山口市 防府市	山口県立総合医療センター	総務課	防府市大崎 77
宇部市 山陽小野市 美祿市	山口大学医学部附属病院	医務課	宇部市南小串1-1-1
下関市	独立行政法人国立病院機構 山口宇部医療センター	事務部管理課	宇部市東浅波 685
長門市	社会福祉法人豊野経済生活支部 山口県済生会下関総合病院	がん相談支援 センター	下関市安岡町 8-5-1
萩市 阿武町	山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院 医療法人医誠会 都志見病院	地域医療 福祉連携室 広報室	長門市東深川 85 萩市江向 413-1

○ロータークラブ「がん教育出前講座」

問い合わせ先 下関ロータークラブ事務局 TEL : 083-227-2316  
※参照 「がん教育に係る出前講座等について」【H27.12.8 平27教安体第692号】

学校におけるがん教育推進のために

平成29年7月  
山口県教育庁学校安全・体育課

**1 がん教育の必要性** (参考:「学校におけるがん教育の在り方」について 報告) P.1 ※以後(報告)  
学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成することをめざして実施していくことが重要である。近年、疾病構造の変化や高齢社会など、児童生徒を取り巻く社会環境や生活環境が大きく変化してきており、健康教育もそれらの変化に対応したものが求められることが求められる。中でも、国民の二人健康教育がかかると推測されるがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であるとの指摘もあり、がんについて学ぶことで、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められている。

**2 がん教育の定義** (参考:報告 P.2)  
がん教育とは、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育のこと。

**3 がん教育の目標** (参考:報告 P.2)  
○ がんについて正しく理解することができるようにする  
○ 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

**4 がん教育の具体的な指導内容(例)** (参考:報告 P.2~4)  
・がんとは(がんの要因等) ・がんの種類とその経過 ・我が国のがんの状況  
・がんの予防 ・がんの早期発見、がん検診 ・がんの治療法  
・がん治療における緩和ケア ・がん患者の生活の質 ・がん患者への理解と共生 等

**5 がん教育を実施する上での留意点** (参考:報告 P.4~6)  
(1) 学校教育活動全体での推進  
がん教育が健康教育の一環として行われることから、学習指導要領総則1の3を踏まえ、体育科、保健体育科を中心に基礎的知識を身に付けさせるとともに、関連する教科等(他教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動等)を含めて教育活動全体を通じて適切に行うことが大切である。

(2) 発達段階を踏まえた指導



平29 教安体第373号  
平成29年(2017年)7月13日

各市町教育委員会  
学校保健主管課長 様

山口県教育庁学校安全・体育課長

「学校におけるがん教育推進のために」の送付について

平素から、学校保健活動の推進に御尽力いただきありがとうございます。さて、県教委では、「学校におけるがん教育の在り方について(通知)」(平成27年4月20日付け平27教安体第70号)のとおり、本年度から全国に展開されているがん教育の実施に向けて、この度、学校におけるがん教育の基本的な考え方と進め方を主な内容とする「学校におけるがん教育推進のために」を作成しました。つきましては、下記留意事項について御検討いただいた上で、貴管内小・中学校に周知いただくとともに、がん教育が各学校において、体育科、保健体育科を中心に教育活動全体を通じて適切に行われますようお願いいたします。なお、(別紙1)については、各市町教委において、必要に応じて加除修正をお願いします。

記

○ 本資料P.3「(4)がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等に係る相談など関係機関との連携」について  
1 (別紙2) (参考:がん対策に取り組んでいる各関係機関)のうち、各市町の地域保健主管課及び各地域の健康福祉センターへがん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等に係る相談を希望する際は、各市町教育委員会を相談・依頼窓口としていただくことが関係機関より求められています。つきましては、各市町教育委員会におかれましては、貴管内の学校からの相談・依頼窓口となる担当者を決めていただくなど、体制整備の確立について御配慮をいただきますようお願いいたします。

※上記の体制整備が確立されない場合には、各学校が各市町の地域保健主管課及び各地域の健康福祉センターへ原則として相談することができます。

2 県内がん診療連携拠点病院等へ情報提供や外部講師の派遣等に係る相談を希望する際は、各学校からの相談・依頼窓口は県教育庁学校安全・体育課 担当とすることが条件となります。



山口県教育庁 学校安全・体育課  
こども元気づくり班 担当: 藤井 学  
TEL : 083-933-4685 FAX: 083-922-8737  
E-mail: fujii.manabu@pref.yamaguchi.lg.jp



がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、中学校・高等学校においては取り扱うことが望ましいと考えられる。また、健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で児童生徒の発達段階を踏まえた内容での指導が考えられる。

(3) **がんに関する教材や指導参考資料の活用** (参考: 別添「がん教育に関する主な文書一覧」)  
 がん教育を進めるにあたっては、科学的根拠に基づいた内容に沿って指導を進める必要がある。児童生徒の発達段階に応じた分かりやすい教材と指導参考資料を活用することが重要である。

(参考)

- ・わたしの健康 (小学生用) 【文部科学省】
- ・かけがえない自分 かけがえない健康 (中学生用) 【文部科学省】
- ・健康な生活を送るために (高校生用) 【文部科学省】

文部科学省のホームページからPDFファイルでダウンロードが可能  
 ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1353636.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1353636.htm)



・がんを知り理解しよう (小学校5～6年生用)

【平成26年3月 山口県健康福祉部地域医療推進室】

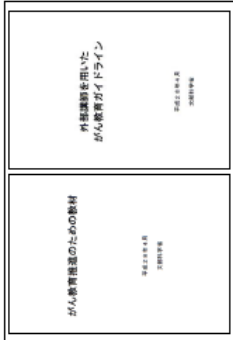
・がんを知り理解しよう (中・高校生用)

【平成26年3月 山口県健康福祉部地域医療推進室】



山口県健康福祉部医療政策課のホームページからPDFファイルでダウンロードが可能  
 ホームページURL: <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a/11700/kanntaisaku/201503250002.html>

- ・がん教育推進のための教材【平成28年4月 文部科学省】  
 ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1369992.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369992.htm)
- ・外部講師を用いたがん教育ガイドライン【平成28年4月 文部科学省】  
 ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1369991.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369991.htm)



- ・「がん教育教材」の指導案 (小学校: 道徳、中学校: 保健体育科・特別活動、高等学校: 保健体育科・特別活動)【平成28年6月 文部科学省】
- ・日本対がん協会HP「よくわかる!がんの授業」  
 【平成28年11月 公益財団法人 日本対がん協会】

ホームページURL: <http://www.jcancer.jp/cancer-education/index.html>

- ・「がん教育推進のための教材指導参考資料」【平成29年5月 文部科学省】

ホームページURL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1385781.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm)

【小学校】

○補助教材: 教師用指導参考資料

- ・がんに関する基礎知識 (6分35秒)
- ・「がんと生きる」エピソード1: がん経験者男性 (5分24秒)
- ・エピソード2: がん経験者女性 (5分03秒)

○ワークシート

○中学校・高等学校

○補助教材: 教師用指導参考資料

- スライド教材
- ・モジュール1: がんという病気 (15スライド)
- ・モジュール2: 日本のがんの現状 (12スライド)
- ・モジュール3: がんの発生と進行 (16スライド)
- ・モジュール4: がんの予防 (13スライド)
- ・モジュール5: 病診の意味 (12スライド)
- ・モジュール6: がんの治療で大切なこと (11スライド)
- ・モジュール7: がん治療の支援 (14スライド)
- ・モジュール8: がん患者のおもい (6スライド)
- ・モジュール9: がん患者とともに生きる社会 (13スライド)

(4) **がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣等に係る相談など関係機関との連携**  
 専門的な内容を含むがん教育を進めるにあたっては、地域や学校の実情に応じた情報の収集・活用や、学校医をはじめとして、がんの専門医、保健行政関係者、がん経験者等の外部講師の参加・協力を求めるなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。  
 【参照: 別紙1「各関係機関との連携にあたっての留意事項」】

(別紙1)

各関係機関との連携にあたっての留意事項【〇〇市(町)立学校について】

- 1 **がん教育を実施する上での情報提供や外部講師の派遣に係る相談を希望するにあたって**  
 (1) 各関係機関に任せきりになることがないよう、既存の教材や指導参考資料等に十分に活用した担任・教科担任等による基礎的知識等に関する指導を実施した上で、情報提供や外部講師の派遣等に係る相談の必要性について検討する。  
 (2) 依頼内容、依頼時期、各関係機関の業務状況等によっては、希望どおりにならない場合もある。

2 **情報提供や外部講師の派遣に係る相談の仕方について**

- (1) 各関係機関【※参考：(別紙2)がん対策に取り組んでいる各関係機関】のうち、  
 ① 〇〇市(町)地域保健主管課及び〇〇健康福祉センターへの相談を希望する場合の相談窓口  
 →各市(町)教育委員会 担当

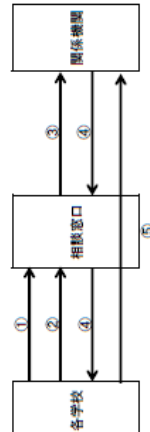
〇〇市(町)教育委員会 担当

- ② 県内がん診療連携拠点病院等への相談を希望する場合の相談窓口  
 →山口県教育庁学校安全・体育課 担当

学校安全・体育課  
 こども元気づくり班 がん教育担当  
 TEL : 083-933-4685 FAX : 083-922-8737  
 E-mail : a50500@pref.yamaguchi.jp

- ③ 学校医及びロータリークラブ「がん教育出前講座」へ相談する場合は、各学校から直接行うこととする。  
 (2) 事前に相談内容や依頼内容(日程、対象学年、指導内容、指導上の留意事項等)を明確にした上で、相談窓口へ電話連絡をする。  
 ※外部講師については相談する際は、開催希望日の1ヶ月前までに連絡すること  
 (3) 相談できる各関係機関は、原則として各学校が所在する地域の関係機関とする。

3 **外部講師派遣までの流れ**



- ① 【連絡・相談】…事前に外部講師派遣について相談  
 ② 【申込書(別紙3)の提出】  
 ③ 【連絡・相談】…申込書(別紙3)をもとに派遣相談  
 ④ 【連絡・相談】…講師派遣の可・不可について回答  
 ⑤ 【詳細について連絡・調整、派遣申請書提出】

(別紙2)

〈参考：がん対策に取り組んでいる各関係機関〉

〇各市町の地域保健主管課

市町名	担当課等	住所
岩国市	健康福祉部 健康推進課	岩国市室の木町三丁目 1-11
和木町	保健福祉課 保健相談センター	玖珂郡和木町和木一丁目 1-1
柳井市	健康福祉部 健康増進課	柳井市南町六丁目 12-1
周防大島町	健康増進課	周防大島町大字土居 1325-1
上関町	保健福祉課 健康増進係	上関町大字長島 503
田布施町	健康保険課	田布施町大字下田布施 3440-1
平生町	健康福祉課 保健班	平生町大字平生町 210-1
周南市	こども健康部 健康づくり推進課	周南市尻玉町一丁目 1
下松市	健康福祉部 健康増進課	下松市中央町 21-1
光市	福祉保健部 健康増進課	光市光井二丁目 2-1
山口市	健康増進課	山口市糸米二丁目 6-6
防府市	健康福祉部 健康増進課	防府市鞠生町 12 番 1 号
宇部市	健康推進課	宇部市琴芝町二丁目 1-10
山陽小野田市	健康福祉部 健康増進課	山陽小野田市日の出一丁目 1-1
美祿市	市民福祉部 健康増進課	美祿市大嶽町東分 345-1
下関市	保健部 成人保健課	下関市南都町 1-1
萩市	保健福祉部 健康増進課	萩市大字平安古町 209-1
長門市	市民福祉部 健康増進課	長門市東深川 1326-6
阿武町	民生課	阿武町大字奈古 2636

注 ロータークラブ「がん教育出前講座」の問い合わせ先は 「杉山医院 TEL : 0835-23-7104」 に変更

(別紙3)

「がん教育実施に係る外部講師参加・協力 申込書 (例)」

依頼先：関係機関名 ( )

学校名	TEL
校長名	FAX
連絡調整担当者名	E-mail

依頼内容	実施場面 ( ) 内に○印を記載	実施対象 ( ) 内に数字を記載
※これまでの指導内容や依頼したい指導内容を具体的に記載	・( ) 授業 (教科等： ) ・( ) 講演・講話 ・( ) 校内研修 ・( ) 学校保健委員会 ・( ) その他	・児童・生徒 ( ) 年生 ( ) 人 ・教職員 ( ) 人 ・保護者 ( ) 人 ・その他 ( ) 人

希望日時	
第1希望	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
第2希望	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分
第3希望	平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分

備考 ※その他 依頼日時
--------------------

○各地域の健康福祉センター

市町名	健康福祉センター	担当課等	住所
岩国市 和木町	岩国健康福祉センター	保健課 健康増進課	岩国市三笠町一丁目1-1
柳井市 藤ノ郷町 上柳町 田布施町 平生町	柳井健康福祉センター	保健課 健康増進課	柳井市古開作中東条 658-1
周南市 光市 下松市	周南健康福祉センター	保健課 健康増進課	周南市毛利町二丁目 38
山口市	山口健康福祉センター	保健課 健康増進課	山口市吉敷下東三丁目1-1
防府市	防府支所	地域保健課	防府市駅南町 13-40
宇部市 山陽小野市 美祿市	宇部健康福祉センター	保健課 健康増進課	宇部市常盤町 2-3-28
長門市	長門健康福祉センター	保健課 健康増進課	長門市東深川 1344-1
萩市 阿武町	萩健康福祉センター	保健課 健康増進課	萩市江向河添中田 531-1

○県内がん診療連携拠点病院等

市町名	がん診療連携拠点病院等	担当課等	住所
岩国市 和木町 柳井市 周南市 防府市 山陽小野市 美祿市	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	管理課	岩国市愛宕町一丁目1-1
山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	山口県厚生農業協同組合連合会 周東総合病院	医事課	柳井市古開作 1000-1
光市 周南市 下松市	独立行政法人地域医療推進機構 徳山中央病院	総務企画課	周南市孝田町 1-1
山口市 防府市	山口県立総合医療センター	総務課	防府市大崎 77
宇部市 山陽小野市 美祿市	山口大学医学部附属病院	医務課	宇部市南小串 1-1-1
下関市	独立行政法人国立病院機構 山口宇部医療センター	事務部管理課 がん相談支援 センター	宇部市東浅波 685
長門市	社会福祉法人豊野経済生活支部 山口県済生会下関総合病院 山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院	がん相談支援 センター 地域医療 福祉連携室	下関市安岡町 8-5-1 長門市東深川 85
萩市 阿武町	医療法人医誠会 都志見病院	広報室	萩市江向 413-1

○ロータークラブ「がん教育出前講座」

問い合わせ先 下関ロータークラブ事務局 TEL : 083-227-2316  
 ※参照 「がん教育に係る出前講座等について」【H27.12.8 平27教安体第692号】